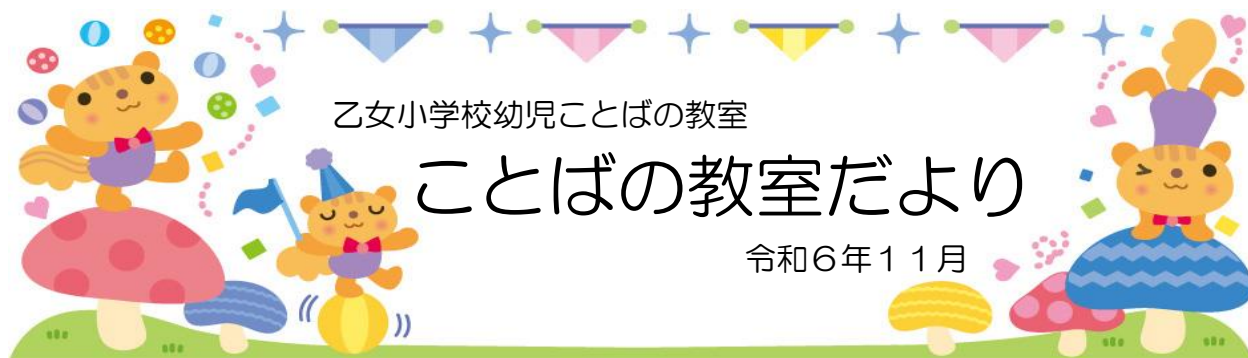




乙女小学校幼児ことばの教室 0285-45-5001

深まる秋

日中のぽかぽかしたお日さまがよりあたたかく感じられる程の朝晩の冷え込み。晩秋の気配が深まる頃となりました。秋晴れの日中は、散歩やハイキング、外遊びやスポーツも楽しめます。また、昼間の時間が短くなってきましたが、夜長になって本の読み聞かせや読書の時間がたっぷりとれる季節になりました。休日も平日もお子様とのふれあいのもてるととてもいい季節です。心にゆとりをもって、お子様とのふれあいの時間をお互いに楽しみましょう。

11月は、寒さに向かう月です。自分の体の調子を考え衣服の調節ができるように話し合うなどして、健康に気をつけて過ごしましょう。



の行事予定



日 月 火 水 木 金 土

					1 職員会議	2
3 文化の日	4 振替休日	5	6	7	8	9
10	11 午後休室	12	13 午後休室	14	15	16
17	18	19 10時～12時 休室	20	21	22	23 勤労感謝の日
24	25	26	27	28	29 たんぽぽ祭 午前休室	30

「小山市ことばを育む親の会」から研修会のお知らせ

日時 令和7年1月20日(火) 10時から

場所 小山市桑市民交流センター（マルベリー館）

講師 桑中ブロック スクールカウンセラー 山田 恵子先生

〈 暮らしの中で構音の基礎をつくる 〉

「ことばをはぐくむ」中川信子著より一部抜粋

構音訓練も大切ですが、毎日の暮らしの中でどんなことに注意したらよいか考えてみましょう。

基礎づくりは食事から

「まだじょうずにかめないから」という理由で、ペチャペチャごはんを卒業されないお母さんは、以外に多いものです。

中学生になっているのに、おじやと豆腐、ひき肉料理、柔らかく煮た野菜だけで育てられている子どもに会ったことがあります。その子の構音の基礎となる運動は、力強くはありませんが、マヒがあるわけではないし、全然かめないわけではありません。

かめないかめない、という現実だけを後追いでいては、いつまでたっても、かめるようにならないでしょう。

・今はかめないけれども(現状)



・将来はかめるようにしたい(希望)



・だから、毎日すこしずつ、かむことの必要なおやつやおかずを増やしていく(希望を実現するための具体的な手だて・方法)



といった、三段構えの考え方を身につけることが、必要です。

できない、できないと現状に振り回されるだけでは、進歩がありませんし、ああなるといい、こうなるといいという希望だけを追いかけると、足下を見失い、焦りばかりがつのります。できていること、できないこと、できそうなことを、しっかり見極めましょう。

飲むことの練習・・・飲むことは生命の基礎です。哺乳瓶からコップで飲める、唇をとじて飲み込むことができる。

かむことの練習

- | | |
|--------------------|---------------|
| ① バランスのよい食事 | ② 食べ物の工夫 |
| ③ 毎日少しずつ、つづけて | ④ そしゃくをひきだす |
| ⑤ ほほ、あご、唇周辺へのマッサージ | ⑥ 全身を使う遊びも十分に |

吸うことの練習・・・ことばの基礎となる、呼吸のコントロール、鼻咽喉閉鎖の機能を向上させるために必要です。

吹くことの練習・・・吹くことは、いろいろに工夫が可能です。

うがいや歯磨き・・・健康、清潔のためだけではなく、発声・発語運動を促す大切な習慣

舌と唇の動きを高める・・・舌や唇の微細な動きを高める口の体操

声を長く続けてだす・・・「アー」をなるべく長くつづけて言ってみる。

練習すると、10秒くらいできるようになります。